



元気っ子

No.293 ながさわ保育園

園長 中瀬 弦 偉

2022年が明けました。昨年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。皆様にとって良い年になりますよう祈念いたします。

先月号の冒頭にカメムシが多く発生した年は雪が沢山降り寒くなるのお話を聞いたことがあると書かせて頂きました。今のところ雪、寒さと合っているように思いますが、理由についてはさっぱり分かりません。どなたか予想でもけっこうですので教えて頂けるとありがたいです。宜しくお願い致します。

元旦の新聞に社会学者上野千鶴子さんの教育対談が掲載されていました。これから先の未来には正解のない世界（VUCAの時代）が待っており、その多様性が重視される中でいかに自らが問いを見出せるか、いかにそういう力をもった子どもを育てる環境を用意できるのかという話でした。そして新しい価値や問いの創造は、多様性の中に生じる摩擦（ノイズやストレス）からこそ生まれます。未来を生きていく子どもたちはそういった世界で生きていく精神力が求められます。異質なものを均一化するのではなく、また、ストレスをストレスと感ずるのではなく、多様性の集合体が世界を構成しているということから自らの経験を通して理解していくことがこれからの教育には求められています。

残念ながら、今の教育はここが弱点で、与えられた問いに、ネットなどから拾ってきた知識を上手にまとめることで点数化されています。これからの未来は予測不能なことに對して答えを出していくためにはお手本はありません。自らが問いを見出して切り開いていくことが求められていく時代になっていくということに、一人でも多くの大人が気づき、それを実践していける世の中に少しでも近づいていければと願っています。

年末に藤森平司先生による「日本子育て学会」の基調講演をながさわ保育園のホームページで公開させて頂きました。内容が少し難しい部分もあったかと思いますが、講演の中から少しでも、何となくでもこれからの子育て・保育のエッセンスを感じて頂ければ幸いです。期間限定公開で、今月の8日(土)までとなっておりますので、ご興味がおありの方は是非ご視聴してみてください。また、内容などについてご質問などありましたら、分かる範囲でお答えさせていただきますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

令和3年度も残すところ3カ月となりました。今月末には生活発表会、3月には卒園式があります。まだまだコロナウイルス感染症終息には程遠く、やりたいことが自由にできる状況にはありませんが、引き続き感染防止対策をしっかりと行いながら、保育の本質を見失わないよう、一日一日を大切にしていきたいと思っております。

2022年も引き続き、ご理解、ご協力を頂きますよう、よろしくお願いいたします。

